

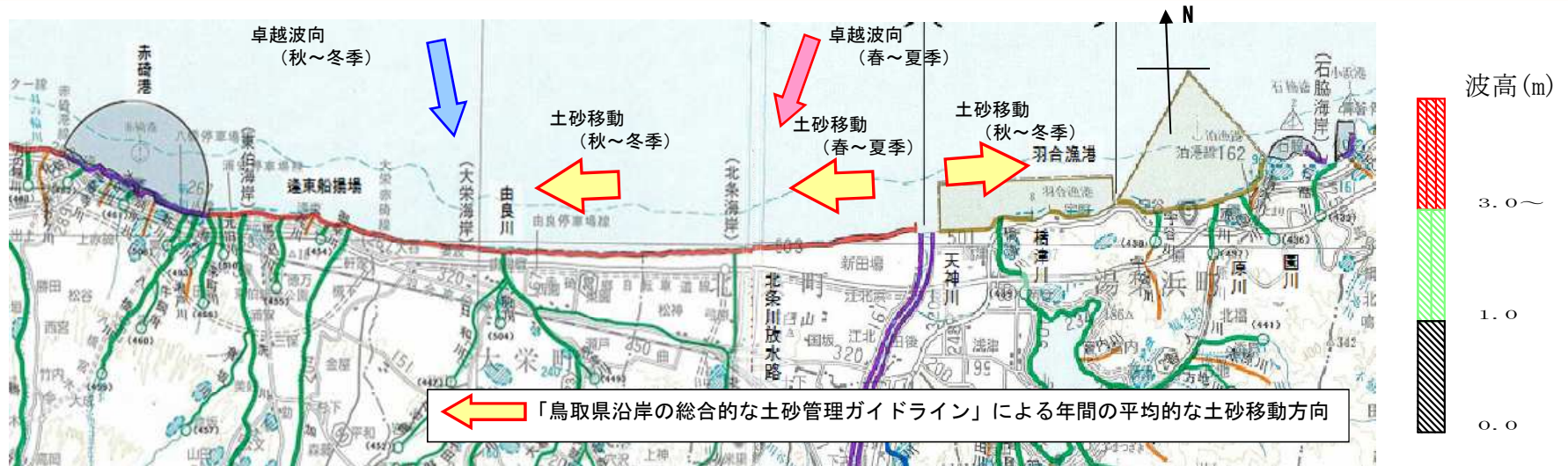
# 令和元年度 鳥取県中部沿岸土砂管理連絡調整会議 ＜要旨＞

R1年5月撮影

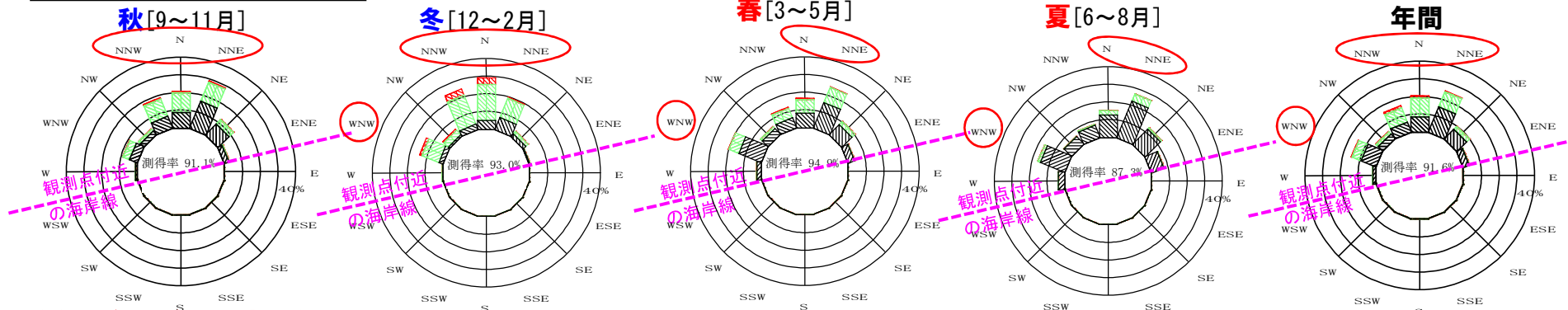
令和元年11月26日(火)  
鳥 取 県



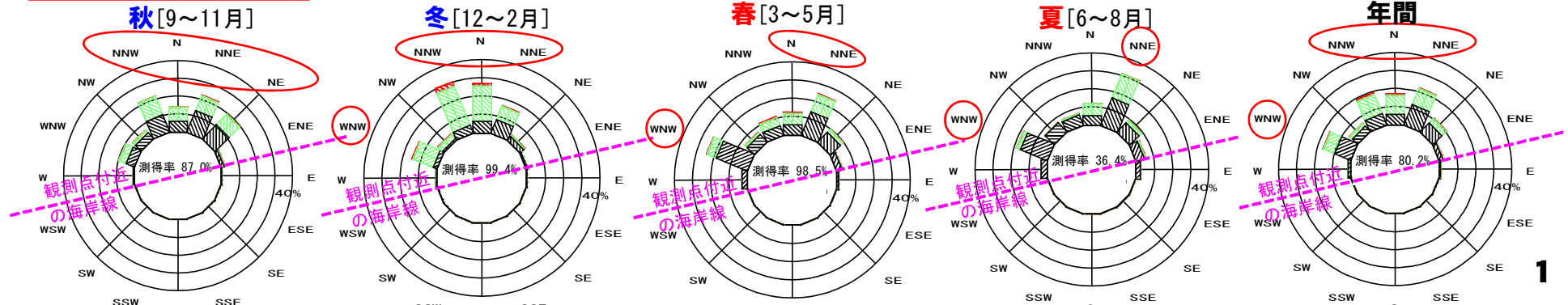
# 対象範囲の波浪・漂砂移動について



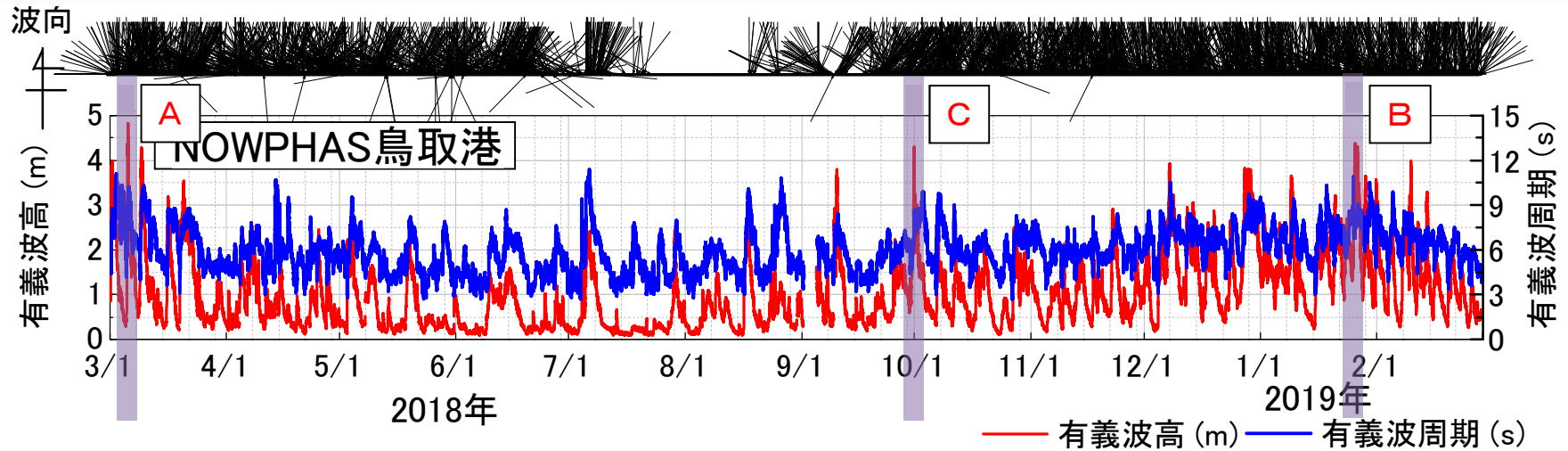
## 近年波浪(H15~H30)の傾向



## 昨年度(H30)の波浪傾向

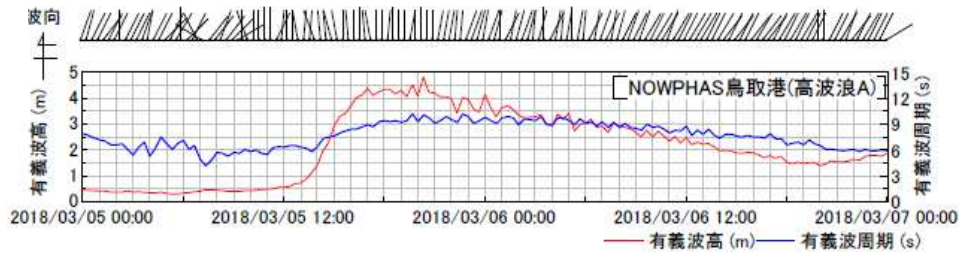


# 対象範囲の波高について 【平成30年度の来襲波浪】



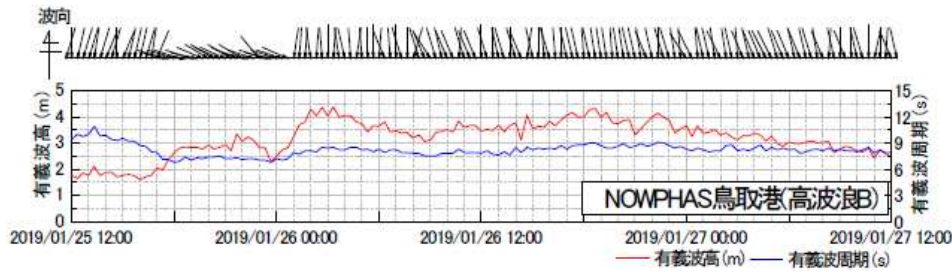
(冬季風浪)

A



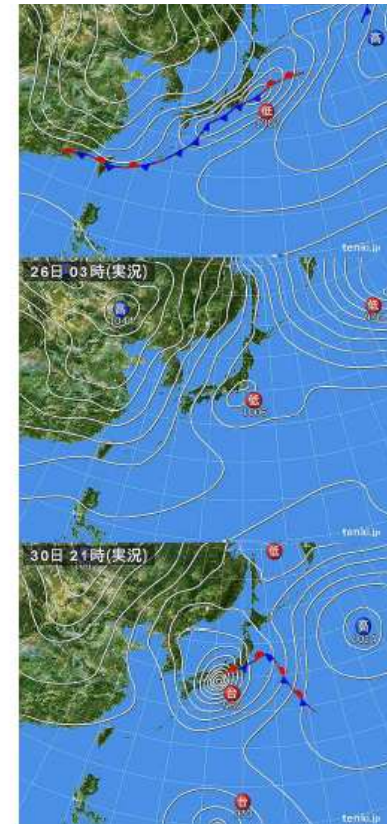
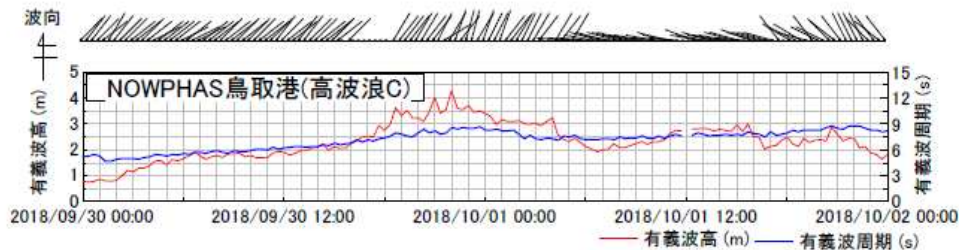
(冬季風浪)

B



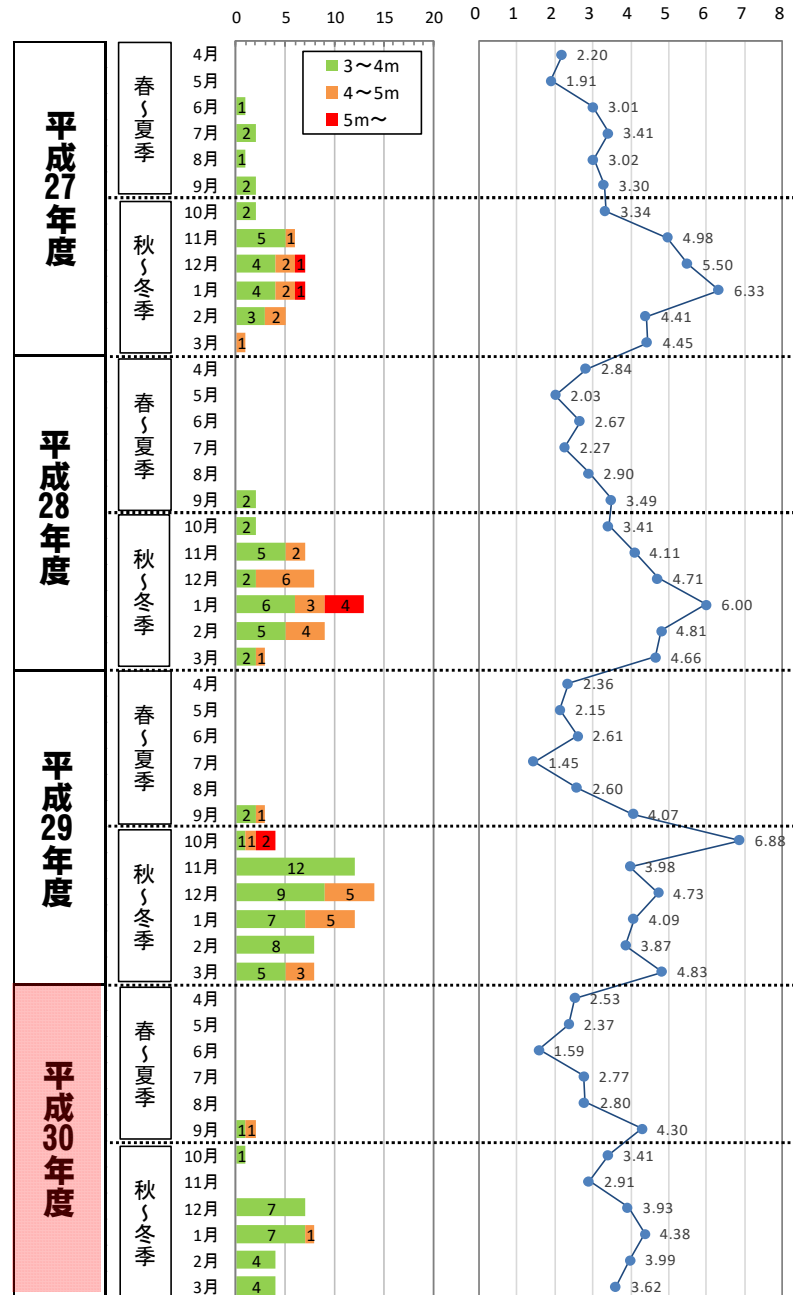
(台風21号)

C



# 対象範囲の波高について 【平成27年度～平成30年度の波高出現状況】

有義波高の発生回数（日数） 月最大 有義波高（m）





# ①天神川左岸地区(天神川河口左岸～北条川放水路右岸)

R1年5月22日撮影



東郷池

天神川

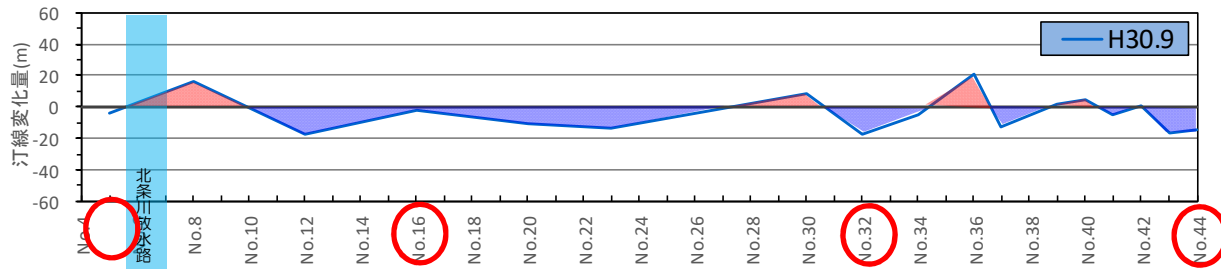
←はわい長瀬

北条川放水路→

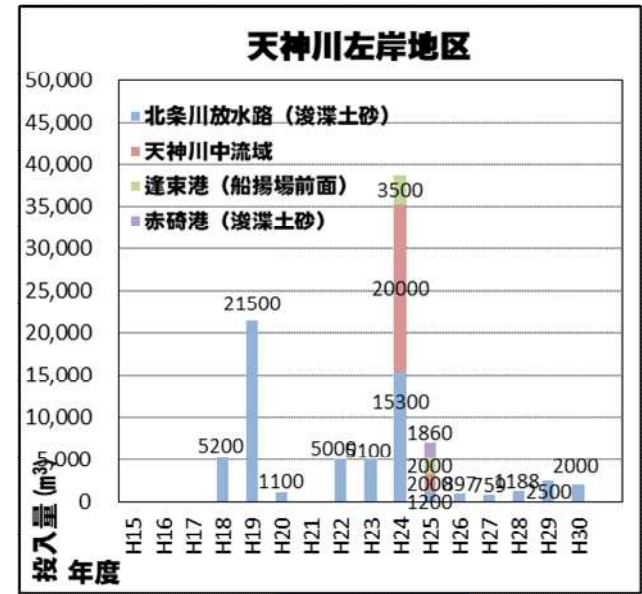
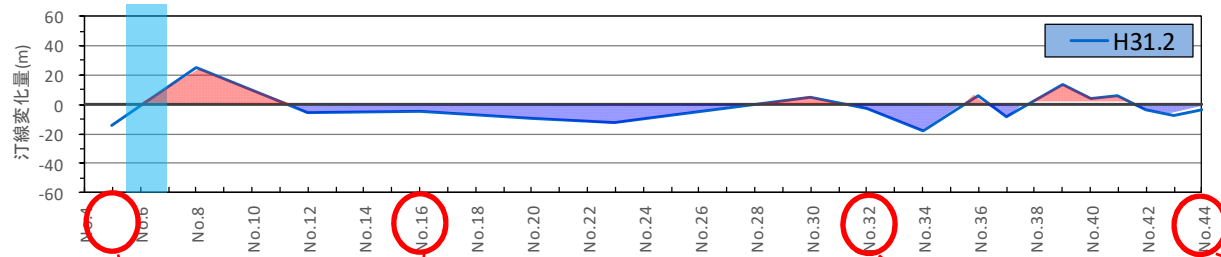


# ①天神川左岸地区 (天神川河口左岸～北条川放水路右岸)

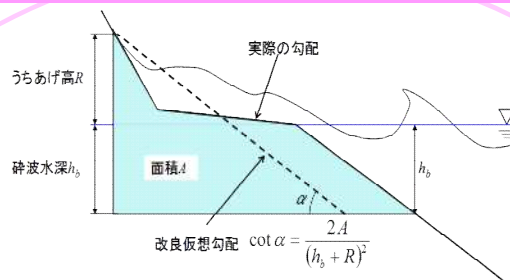
平成30年度 天神川左岸地区の長期汀線変化状況図(平成15年9月基準)



平成30年度 天神川左岸地区の長期汀線変化状況図(平成15年3月基準)



『防護』で必要な浜幅 ⇒ 25m



『環境』に適した浜幅 ⇒ 施工配慮



海浜に生息する動植物、「白砂青松の海岸」、  
「山陰海岸国立公園」等の景勝地に影響のない  
浜幅を検討。

越波防止の観点・過去の海岸侵食状況を考慮  
して設定。  
※越波防止に関しては「中村の仮想勾配法」に  
よる波のうちあげ高を算出。

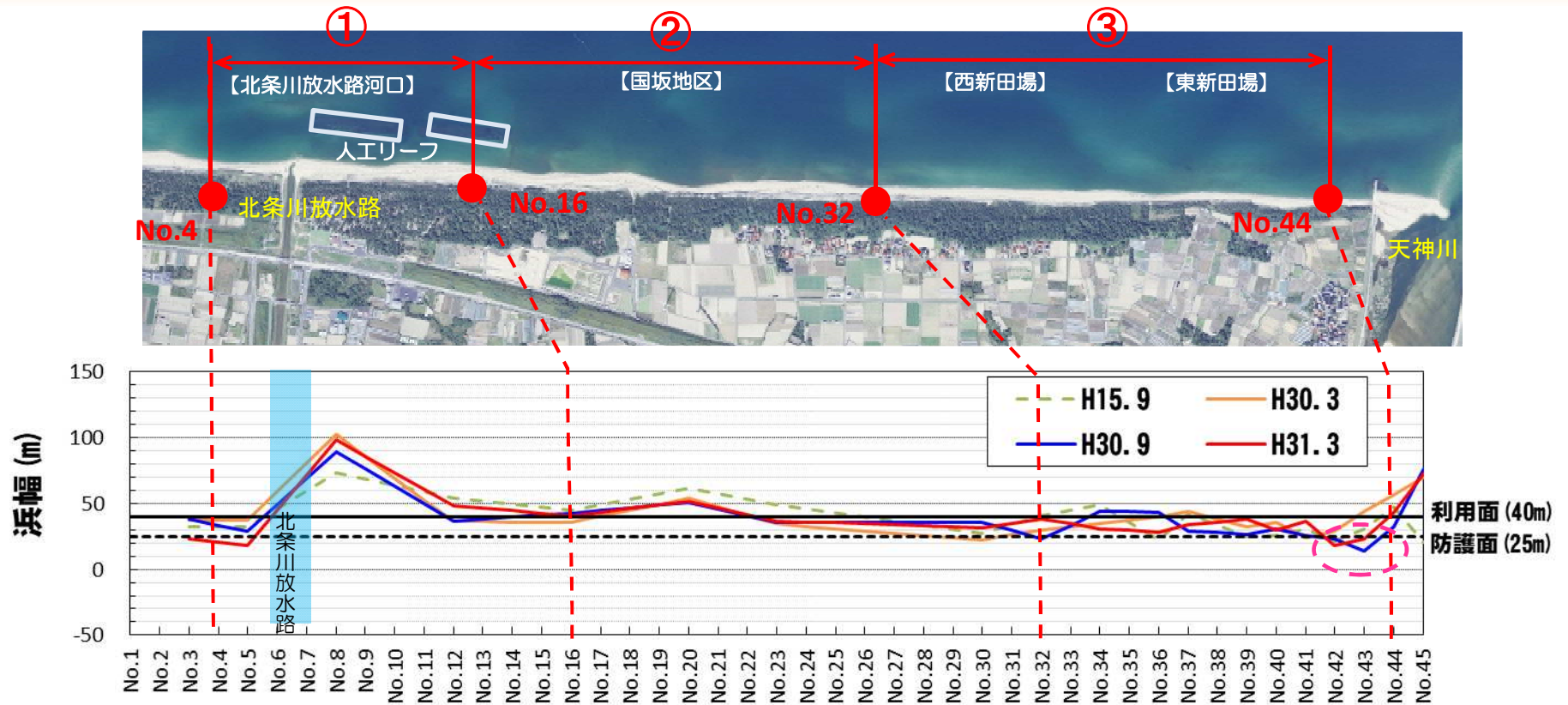
『利用』に適した浜幅 ⇒ 40m



海水浴場・地引網・キャンプ等の海浜レクリ  
エーションで利用しやすい浜幅を検討。

「国土交通省港湾局監修(2005.10):ビーチ  
計画・設計マニュアル(改訂版)」海水浴客の  
海浜幅に対する評価より、40mと設定。

# ①天神川左岸地区(天神川河口左岸～北条川放水路右岸)



	①(北条川放水路河口)	②(国坂地区)	③(西新田場～東新田場)
長期的な変化 (H15→H30)	サンドリサイクルにより安定傾向	人エリーフの東側で侵食傾向	西新田場で侵食傾向が見られる
過年度の対策 (H15～H30)	サンドリサイクル	リーフ整備(H15に整備完了) サンドリサイクル	サンドリサイクル
本年度の対策 (R1)	サンドリサイクル	—	—
短期的な変化 (H29→H30)	大きな変動なし	大きな変動なし	大きな変動なし
来年度の対策予定 (R2)	サンドリサイクル	必要に応じサンドリサイクル	必要に応じサンドリサイクル

- 利用(40m) ... 海水浴場としての利用はなし
- 防護(25m) ... 天神川左岸の導流堤基部は、防護浜幅を満足しない。

**<対応方針>**  
引き続き北条川放水路のサンドリサイクルを実施する。  
新田場については経過観察を行い、必要に応じてサンドリサイクルを実施する。

- H15～30年度 サンドリサイクル量91,104m<sup>3</sup>(年平均 5,632m<sup>3</sup>)、H30年度 2,000m<sup>3</sup>
- 国坂地区は汀線後退が見られるため、現場状況を注視し、場合によってはサンドリサイクルも検討



## ②由良川左岸地区(由良川河口～逢東船揚場)

R1年5月22日撮影



赤碕港

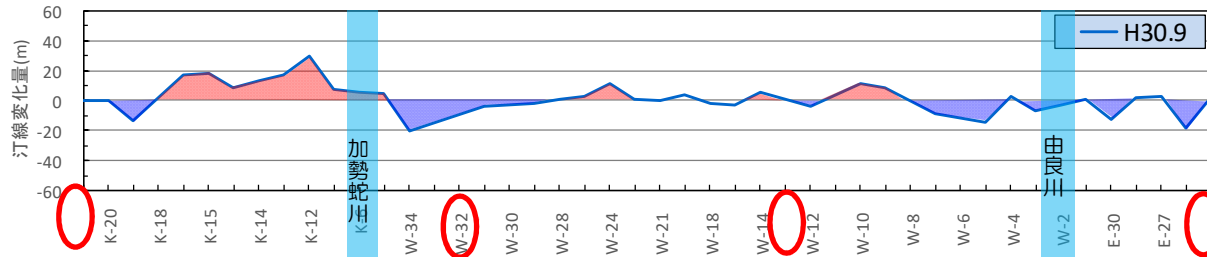
由良川

妻波海岸

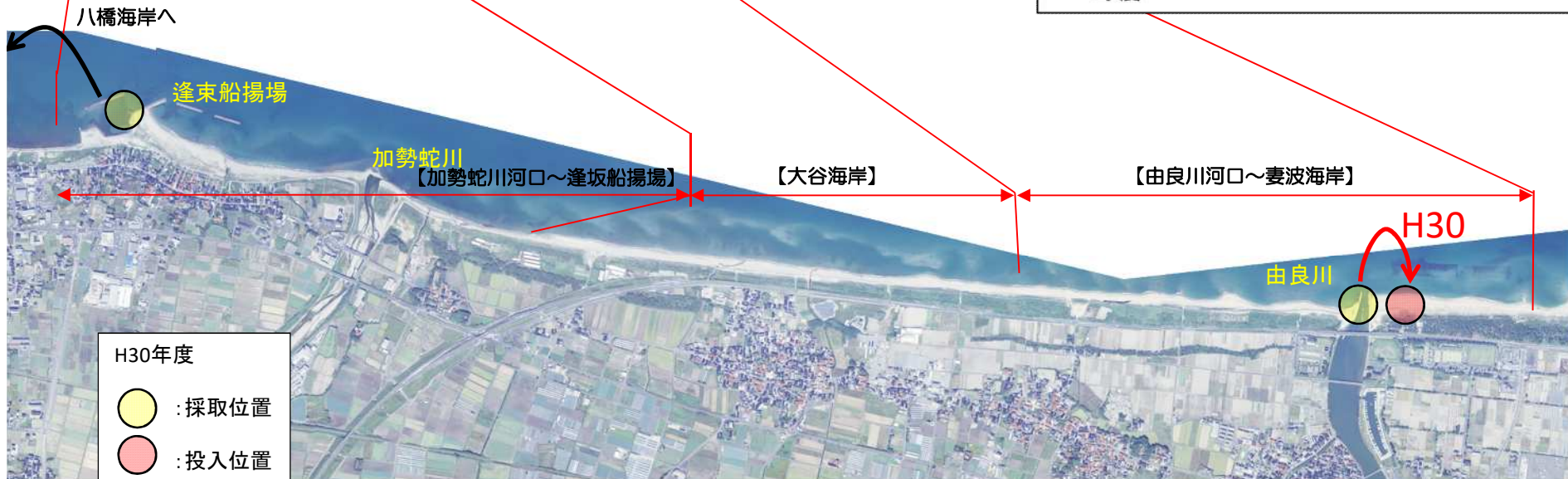
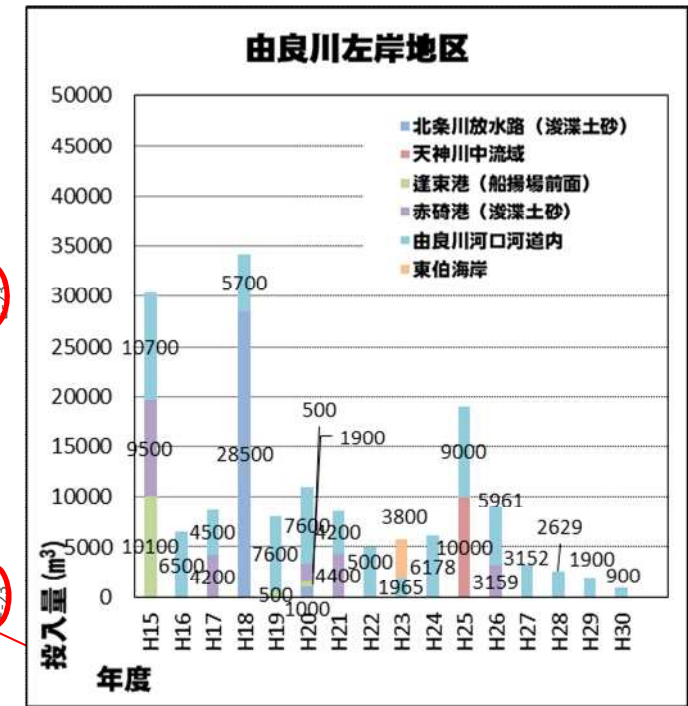
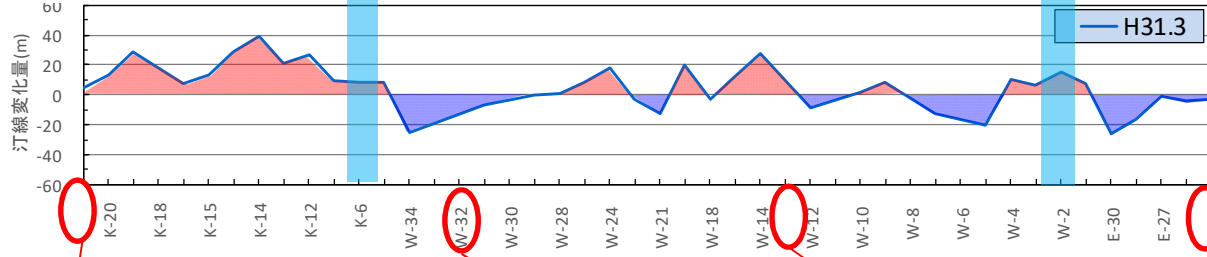
逢東船揚場→

## ②由良川左岸地区(由良川河口～逢東船揚場)

平成30年度 由良川左岸地区の長期汀線変化状況図(平成21年9月基準)

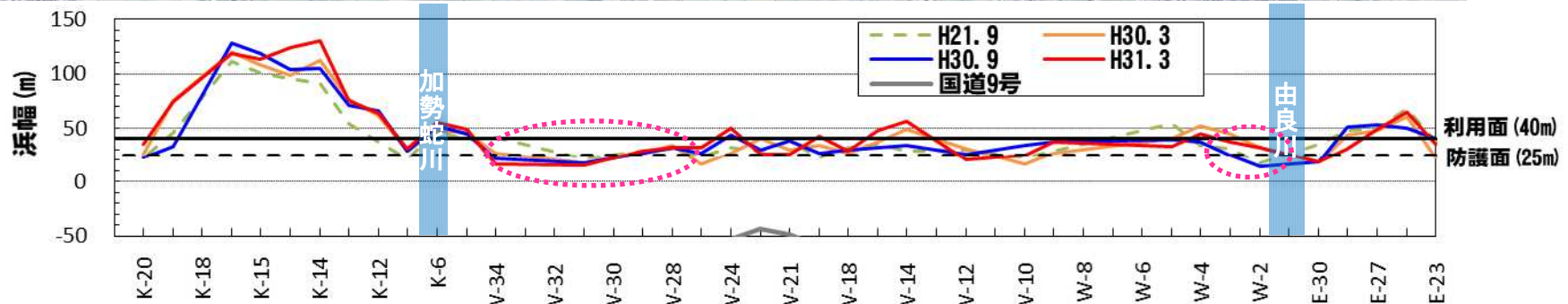
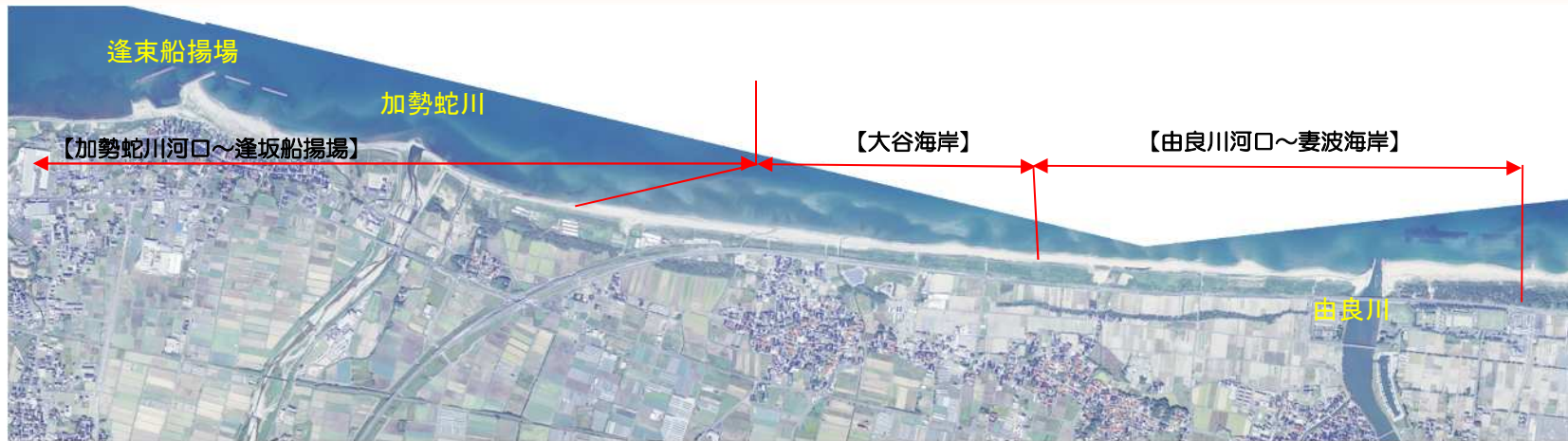


平成30年度 由良川左岸地区の長期汀線変化状況図(平成21年3月基準)





## ②由良川左岸地区(由良川河口～逢坂船揚場)



	(加勢蛇川河口～逢坂船揚場)	(大谷海岸)	(由良川河口～妻波海岸)
長期的な変化 (H15→H30)	土砂堆積があり汀線が前進傾向	季節毎の侵食は見られるが、概ね堆積傾向	妻波海岸で侵食傾向が見られる
過年度の対策 (H15～H29)	サンドリサイクル	サンドリサイクル	サンドリサイクル
本年度の対策 (R1)	—	—	サンドリサイクル
短期的な変化 (H29→H30)	大きな変動なし	大きな変動なし	大きな変動なし
来年度の対策予定 (R2)	必要に応じてサンドリサイクル	必要に応じてサンドリサイクル	サンドリサイクル
○ H15～30年度 サンドリサイクル量162,510m <sup>3</sup> (年平均 10,157m <sup>3</sup> )、H30年度 900m <sup>3</sup>			

- 利用(40m)  
…海水浴場としての利用はなし
- 防護(25m)  
…大谷海岸・由良川河口の一部で局所侵食がみられる

### <対応方針>

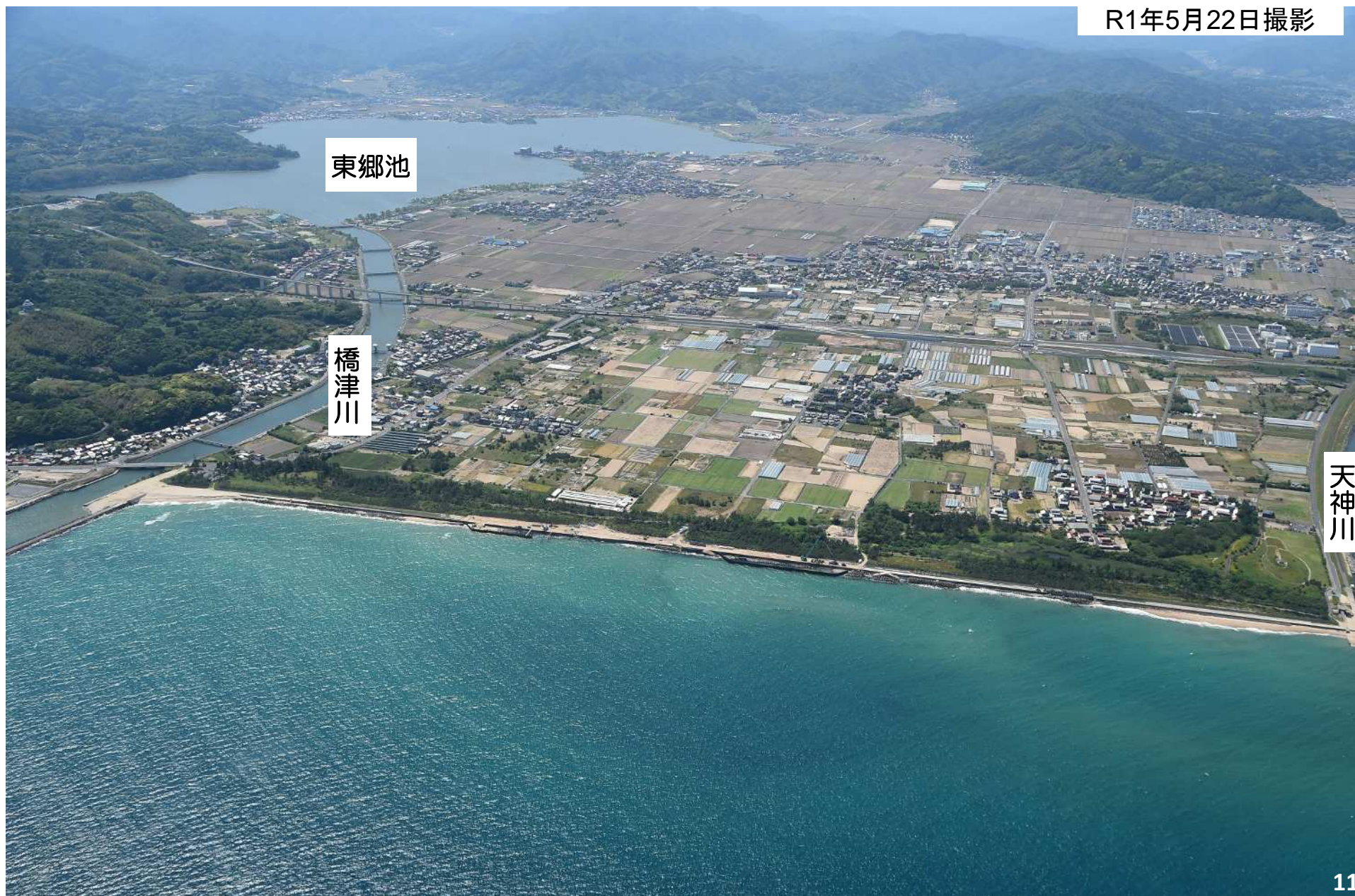
引き続き由良川河口のサンドリサイクルを実施する。

防護目安を満たしていない箇所については、経過観察を行い、必要に応じてサンドリサイクルを実施する。10



### ③天神川右岸地区(天神川河口右岸～橋津川左岸)

R1年5月22日撮影



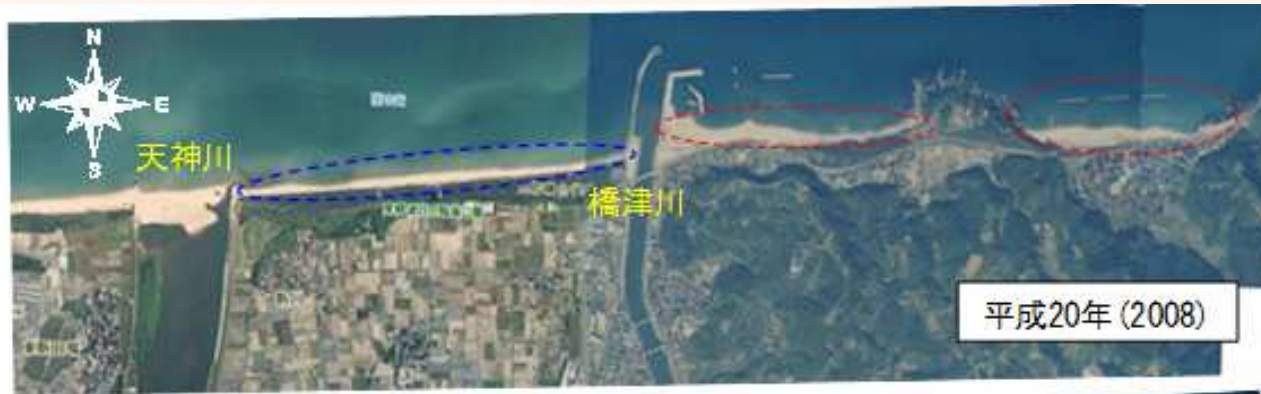
東郷池

橋津川

天神川



### ③天神川右岸地区 (天神川河口右岸～橋津川左岸)



平成20年 (2008)



平成25年 (2013)

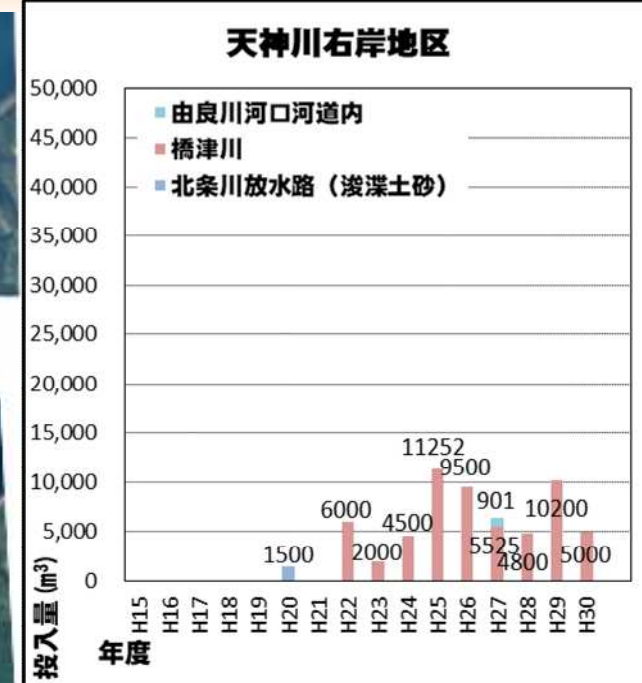


平成30年 (2018)

H30年度  
 ● : 採取位置  
 ● : 投入位置

汀線後退区域

汀線前進・維持区域



H20 - H30比較 ※航空写真による

- 天神川河口の右岸 (No.1～No.9) で海岸侵食が進行傾向にある。
- 橋津川右岸では堆積傾向